

「第四次産業革命に向けた競争政策の在り方に関する研究会」について

平成 29 年 1 月
経 済 産 業 省

1. 開催趣旨

急速に進展するデジタル経済に対応するため、「競争政策」、「データ利活用・保護」、「知的財産」という 3 つの政策分野について、平成 28 年 1 月から 7 月まで 7 回にわたり「第四次産業革命に向けた横断的制度研究会」を開催した。

同研究会では、①オンライン関連事業に関する公正取引委員会との共同ヒアリング調査の実施（約 20 社へヒアリング）、②欧米競争当局等への調査出張、③有識者からのプレゼンテーションなどを踏まえて、現状と課題の整理を行い、今後の対応等について検討を行い、その成果を「報告書」としてとりまとめて同年 9 月 15 日に公表したところである。

上記報告書においては、総論として、「情報の集積」がプラットフォームの競争力の源泉として機能している旨を指摘している。

一方、これまで、独仏の競争当局がデータと競争についての共同報告書を公表するなど、「情報の集積」に関する競争政策上の考察について、各国でも検討が始まりつつある。他方、データを活用した製品・サービスには様々なものがあると考えられるところ、具体的に企業においてどのようなデータの集積・利活用が行われており、それらが競争環境にどのような影響を与えるのかという点について、具体的な考察をしたものはない。

そこで、本研究会では、これらの動きを踏まえて、

- (1) データの集積・利活用の実態について、幅広く事例を集めて類型化
- (2) データの集積・利活用に関する競争政策上の論点を整理
- (3) 欧米の議論も踏まえつつ公正・自由な競争による絶え間ないイノベーションを実現するための考え方の提示

を行うべく、必要な検討を行う。

上記に加えて、昨年 9 月に公表した報告書で指摘したアプリ市場の取引実態に関するフォローアップも行うこととする。

2. 委員

別紙参照

3. スケジュール

- | | | |
|-------|--------------|-------------|
| 第 1 回 | 1 月 13 日 (金) | 10:00-12:00 |
| 第 2 回 | 2 月 3 日 (金) | 14:00-16:00 |
| 第 3 回 | 2 月 24 日 (金) | 14:00-16:00 |
| 第 4 回 | 3 月 17 日 (金) | 14:00-16:00 |

※その後、数回開催して、最終的に報告書を取りまとめる予定。

4. 研究会及び配付資料等の公開について

- ・ 本研究会は、原則、非公開とする。
- ・ 研究会の議事概要は、事務局が作成し発言者に確認した上で公開する。
- ・ 配付資料の扱いは、事務局が座長及び資料提出者と相談して対応を決定する。

第四次産業革命に向けた競争政策の在り方に関する研究会

委員名簿

(敬称略、五十音順)

座長	大橋 弘	東京大学大学院経済学研究科教授 独立行政法人経済産業研究所プログラムディレクター／ファカルティフェロー
	川瀨 昇	京都大学大学院法学研究科教授
	武田 邦宣	大阪大学大学院法学研究科教授
	立本 博文	筑波大学大学院ビジネスサイエンス科学研究科教授
	林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科教授
	原田 博植	一般社団法人丸の内アナリティクス代表理事
	平塚 三好	東京理科大学大学院イノベーション研究科教授
	森 亮二	英知法律事務所弁護士

(オブザーバー)

独立行政法人経済産業研究所

(事務局)

経済産業省経済産業政策局 競争環境整備室